

令和3年度

事業報告

社会福祉法人けやきの会

社会福祉法人けやきの会 令和3年度事業報告.....	1
けやき作業所 令和3年度事業報告.....	2
第2けやき作業所 令和3年度事業報告.....	4
共同生活援助事業 令和3年度事業報告.....	6
ショートステイひとやすみ 令和3年度事業報告.....	8
相談支援センターけやき 令和3年度事業報告.....	9
ヒヤリハット報告書・事故報告書 令和3年度報告.....	10

## 社会福祉法人けやきの会 令和3年度事業報告

1. 社会福祉法人けやきの会理事会の開催（年6回）  
〔6/3(書面)、6/18(書面)、11/16(火)、令和4年1/20(書面)、3/22(火)、3/31(書面)〕
2. 社会福祉法人けやきの会評議員会の開催（年3回）  
〔6/18（書面）、11/26(金) 令和4年3/31(木)〕
3. 監事監査の実施 [5/25(火)]
4. 知立市との委託契約の締結及び事業の実施(相談支援事業)  
(地域生活支援拠点コーディネート事業)
5. 障害福祉サービスの実施事業
  - (1) けやき作業所（生活介護、就労継続支援B型）
  - (2) 第2けやき作業所（就労継続支援B型）
  - (3) ホームけやき太陽、八ツ田Ⅰさくら、八ツ田Ⅱひまわり、八ツ田Ⅲことり  
(共同生活援助)
  - (4) ショートステイひとやすみ（短期入所）
6. 緊急一時事業の実施（時間利用 17件、泊まり利用 2件）
7. 第26回 社会福祉法人けやきの会と市民の集い・バザー中止  
理由 新型コロナウイルスの感染予防のため
8. 第28回社会福祉法人けやきの会 新春の集いを中止  
理由 新型コロナウイルスの感染予防と新成人がいなかったため
9. 寄付金及び賛助会員の状況  
☆企業・団体 7件 251,406円 ☆個人 16件 306,603円  
☆賛助会費 99件 370,000円
10. 収益事業の状況  
令和3年度カレンダー・夏冬物資販売 純利益 550,000円、カレンダー一本数 856本
11. 独立行政法人福祉医療機構への建物償還借入金の返却  
ホーム八ツ田Ⅱひまわり 840,000円(元金) 45,360円(利息) 残金 2,310,000円(元金)  
ホーム八ツ田Ⅲことり 1,020,000円(元金) 35,843円(利息) 残金 9,690,000円(元金)
12. 各種協力団体等の総会、会議及び行事への参加
  - (1) 知立市社会福祉協議会理事会、社会福祉法人富士会評議員会に参加
  - (2) 知立市障害者自立支援協議会、及び各専門部会、知立市障害支援区分認定審査会、リングCや障害者スポーツ大会・草の根フェスティバル役員会、弘法文化展等に参加
  - (3) 【会員のみの開催のため不参加】ボランティアあおみの会、知立市身体障害者福祉協議会、知立手をつなぐ育成会、かとれあ福祉ネット、けやきの会家族会定期総会
  - (4) 【中止】知立市福祉健康まつり、知立市障害者スポーツ大会、知立市草の根フェスティバル、弘法町・八ツ田町・上重原町夏祭り

# けやき作業所 令和3年度事業報告

## 1. 経営状況

### (1) 職員体制（令和4年3月末日現在）

#### ① 生活介護事業（定員39名 現員42名）

管理者1名（就労継続支援B型兼務）

サービス管理責任者1名（就労継続支援B型兼務）

生活支援員：正職7名（ホーム兼務2名）非常勤10名

看護師：非常勤3名 理学療法士：非常勤1名

事務員：正職2名・非常勤2名 運転手：非常勤4名

#### ② 就労継続支援B型事業（定員11名 現員11名）

管理者1名（生活介護事業兼務）

サービス管理責任者1名（生活介護事業兼務）

職業指導員：正職1名 生活支援員：非常勤2名 目標工賃達成指導員：正職1名

### (2) 運営状況

#### ①稼働日数247日、利用率は生活介護92.4%（昨年93.8%）平均利用者36.0人

（36.6人）、就労継続支援B型89.0%（92.6%）平均利用者数9.8人（10人）であった。

#### ②『けやき作業所あすなろ』を開所して1年が過ぎた。実習生の受入を積極的に行い令和4年度の新規利用者の獲得につなげることができた。

#### ③新規利用者2名の受入をおこなった。

#### ④2月と3月にコロナウイルスの感染者がでたため、協力医の指示のもと対応をした。作業所の閉所中は、利用者やご家族、下請けを提供して下さっている企業に負担をかけることになってしまった。生活リズムの崩れてしまった利用者には、落ち着いて過ごせるように支援を行った。また、作業所内の消毒作業や利用者、職員全員のPCR検査実施なども行った。引き続きコロナウイルス感染予防のため、こまめな換気を行い、密を配慮した環境づくり、空気清浄機や飛沫防止パネルの使用、施設内の消毒に取り組み感染予防に努めている。

#### ⑤5月に利用者の1名が亡くなった。急な出来事で受け止められない利用者の対応を行った。

#### ⑥利用者工賃(1名当たり) 生活介護事業 3,124円（昨年4,688円）

就労継続支援B型 11,280円（昨年13,658円）

## 2. 実施状況

愛知教育大学附属特別支援学校1名、安城特別支援学校3名、岡崎特別支援学校1名

刈谷特別支援学校2名、雁ヶ音中学校特別支援学級2名

至学館大学教職課程の介護体験実習10名

日本福祉大学社会福祉士実習生1名、愛知教育大学社会福祉士実習生2名

知立市教員初任者研修10名

### 3. 行事・販売活動

令和3年	4月	
	5月	弘法露店出店、消防訓練
	6月	弘法露店出店、健康診断
	7月	弘法露店出店
	8月	弘法露店出店、知立市教員初任者研修、特別支援学校実習
	9月	消防訓練、日本福祉大学・愛知教育大学社会福祉士実習
	10月	弘法露店出店、至学館大教員免許取得介護体験実習
	11月	弘法露店出店、消防訓練
	12月	弘法露店出店、けやきの家クリスマス会
令和4年	1月	弘法露店出店、新春お楽しみ会
	2月	弘法露店出店
	3月	弘法露店出店、東京福祉大学社会福祉士実習

### 4. 全体総括

#### (1) 運営に関して

けやき作業所あすなろを開所して、重症心身障害者の利用者が強く希望されていた入浴支援を実施することができた。ご家族にとっても喜ばれている。実習生からの評価も良く次年度につながっている。

感染対策に配慮をしながら、クリスマス会や新春お楽しみ会を実施した。いろいろな行事を自粛している中、少ないながらも利用者が楽しむ場を提供することができた。

あおぞらグループを前年度より開始して個々の課題に向き合い日々対応を模索している。

今年度、重度障害者支援加算を取得するために新しいシステムを導入し、支援計画や日常の記録、強度行動障害の記録とった。合わせて利用者の情報を記録蓄積して次の支援につなげられるように取り組んだ。その結果、今年度は初期加算 900 万と通常加算 700 万を加算取得することができた。記録を取る職員の時間確保が難しく残業が増えたことが問題としてでてきた。

#### (2) 職員育成や研修について

外部研修は、強度行動障害研修とサービス管理責任者更新研修に参加をした。

内部研修は研修計画を立て、毎月 1 回研修を行うことができた。職員間のディスカッションもできた。

- ①虐待防止・接遇・報告・リーダーの心構え・個人情報・アセスメント・問題行動
- ②発達障害・聴き上手なリーダーとなるために・利用者の真の主訴を考える・チームで取り組む・記録の目的

## 第2 けやき作業所 令和3年度事業報告

### 1. 経営状況

#### (1) 職員体制（令和4年3月末現在）

○就労継続支援B型事業

管理者 1名（サービス管理責任者兼務）

職業指導員 正職1名 非常勤1名

生活支援員 正職1名 非常勤4名

目標工賃達成指導員 非常勤2名

事務員 非常勤2名

#### (2) 就労支援事業経営状況

令和3年4月1日～令和4年3月31日（喫茶 パン クッキー 軽作業合計）

	令和2年度	令和3年度	前年比
収入	¥24,319,050	¥25,093,275	103.18%

- ・令和2年度からコロナ禍により激減した売り上げからほぼ横ばいであった。出張販売やイベントの販売なども少なく、再開することもなかった。しかし、まったくなかかったわけではないので少なくなってしまった販売機会は逃すことなく積極的に参加した。
- ・緊急事態宣言や蔓延防止等重点措置が発令されてもコロナ対策は十分に取りながら店の営業は継続した。
- ・原材料の度重なる値上げを受けパンやランチの値上げを令和4年1月から行った。値上げに際し取引業者からのアドバイスを頂いたり、お客様や納品先への事前告知等行い、混乱がないように努めた。値上げに対しての苦情や意見などは聞いていない。
- ・知立市商工会主催の39クーポンに参加し、お客様の利便性向上や、店の売り上げにつなげることができた。売り上げが10万円程度あった。
- ・令和2年度店売り上げ 13,937,709円 客数 16,657名  
令和3年度店売り上げ 13,897,789円 客数 17,571名

### 2. コロナ対策について

- ・不特定多数のお客様が出入りする施設としてできる限りの対策を行った。  
自由に使える消毒液の設置。  
メイプルルームを長時間利用される方への検温、名簿の記入  
レジ、一部客席にアクリル板、空気清浄機等の設置  
張り紙やポップ等でのお客様への注意喚起  
必要に応じて喫茶フロアの椅子の間引き  
手で触る部分の定期的な消毒作業
- ・利用者、職員への感染対策  
利用者同士が密にならないように食堂の分散化  
主に休み前など、外出自粛や基本的な感染対策をするよう働きかけ  
毎日の検温記録や健康チェック  
遠足、忘年会などはすべて中止  
上記にプラスして職員には法人が定めた外出記録等への記入の協力

### 3. サービス利用状況

#### < 訓練等給付費収入 >

令和 2 年度	令和 3 年度	前年比
¥36,971,489	¥38,605,586	104.42%

- ・今年度は特別支援学校卒業生を 1 名、在宅の方 2 名を受け入れることができた。また、退所した利用者はいなかった。
- ・卒業後の進路の一つに第 2 けやき作業所を選んでもらうべく特別支援学校からの実習生の受け入れを積極的に行うことができた。
- ・ほとんどの利用者がほぼ毎日利用してくれているが、全く通うことができない利用者、月数日のみ通う利用者がある。

### 4. 利用者工賃

工賃支払合計	平均工賃月額
¥6,830,824	¥23,473

- ・前年度からほぼ変わらずお支払することができた。

### 5. コロナ感染者について

- ・ホームの利用者で感染者が一人確認された。ホームでの集団感染だったのでホームでの隔離生活ののち復帰した。それ以外は職員、利用者とも感染者は確認されなかった。

### 6. 利用者について

- ・令和 4 年 2 月 28 日（月）から 2 週間程度ホーム利用の方の行方がわからないことがあった。

経過 2/28 から 3/14 ネットカフェにて過ごす

3/14 賽銭の窃盗容疑で逮捕、拘留

3/24 釈放

原因 2/28 は仕事が休みで一日遊ぶ予定だったがコロナワクチンの注射があり予定が変わってしまった。それでイライラしてしまい、出て行ってしまった。

詳細、経過など報告書を作成、市の障害福祉課には報告済み。

### 7. 総括

前年度に引き続きコロナ禍での運営になった。イベント、行事等も中止になったものが多く、仲間たちにとっても楽しみの少ない一年であった。そんななかであったが、コロナの波が何度かあったが、感染者を出すことなく過ごすことができた。また、売り上げに関してもほぼ横ばいで推移することができた。

## 共同生活援助 令和3年度事業報告

### 1. 経営状況

職員体制（令和4年3月末現在）

- ① ホームけやき太陽（知立市上重原町本郷133番地 定員6名、現員6名）  
管理者 1名（兼務） サービス管理責任者 1名  
世話人 非常勤2名  
生活支援員 非常勤5名（兼務4名）  
夜間支援員 非常勤2名
- ② ホーム八ツ田Ⅰさくら（知立市八ツ田町泉47番地 定員6名 現員5名）  
管理者 1名（兼務） サービス管理責任者 1名  
世話人 非常勤2名（兼務1名）  
生活支援員 非常勤3名（兼務2名）  
夜間支援員 非常勤5名
- ③ ホーム八ツ田Ⅱひまわり（知立市八ツ田町泉48番地 定員8名 現員8名）  
管理者 1名（兼務） サービス管理責任者 1名  
世話人（夜間支援員兼務） 正職2名（兼務）、非常勤3名（兼務3名）  
生活支援員 非常勤5名（兼務4名）
- ④ ホーム八ツ田Ⅲことり（知立市八ツ田町泉47番地1 定員4名 現員4名）  
管理者 1名（兼務） サービス管理責任者 1名  
世話人 非常勤4名（兼務4名）  
生活支援員 非常勤7名（兼務6名）  
夜間支援員 非常勤3名

### 2. コロナ感染者の発生、隔離等について

- ・3月にホーム八ツ田Ⅰ、ホームけやき太陽にて感染者が複数確認された。職員、利用者とも一定期間隔離生活を行った。陽性でも症状の出なかった職員が陽性の利用者を見るという、いわゆる「陽陽支援」を医師の許可を得て行った。結果職員には多大な負担をかけることになってしまった。コロナの期間、陽性の利用者の支援をしていただいた職員には、勤務日数に応じ通常の給与等とは別に手当を支給させていただいた。  
県には報告済み。前回の理事会においても経過、感染者数は報告済み。

### 3. 利用者の死亡について

- ・令和3年6月8日早朝、ホーム八ツ田Ⅰにて利用者がベッドの側面で立ち膝になり上半身がうつぶせになった状態で発見された。その時すでに呼吸をしていなかった。  
発見者の世話人が119番通報。救急車内でも搬送先の病院でも心臓マッサージが続けられたが蘇生することなく6時50分ご両親立会いのもと、死亡が確認された。  
死亡確認後、CTをとって原因を調べたが分からず、「不詳」とされた。  
ご家族には詳しい経緯を説明、突然のことではあったがご理解いただいた。  
県にも所定の様式にて報告済み。



#### 4. 利用状況

- ・ホームけやき太陽、ホーム八ツ田Ⅲことりは365日開所し、親が亡くなった方、週末や年末年始に家へ帰れない方の対応をした。
- ・連休でけやき作業所、第2けやき作業が休みの場合の日中活動は、他事業所の日中一時支援事業を利用して頂き、他事業所も休みの場合（お盆期間、年末年始）は作業所職員が交代で出勤し対応した。

#### 5. 実施状況

##### (1) 新型コロナウイルスの感染拡大による影響

- ・余暇活動として行っていた初詣、花見、忘年会、カラオケボックスの利用を中止した。外出する活動は感染リスクが高い為自粛した。
- ・誕生日会やホームカラオケは中止とせず、ホーム内にて行った。その際、歌を唄ったり、お祝いの言葉を送ったりすることは止め拍手だけとした。
- ・感染拡大防止対策として、ホーム帰宅後の手洗い・消毒の実施、リビングの換気、食卓の消毒、食卓のパーティションの設置を行った。また、時間差で食事を取ることでより食堂が密になることを避けた。
- ・蔓延防止等重点措置が発令されている間、自主的に休みされ、自宅で過ごす方もいた。

##### (2) 活動内容

- ・訪問看護を取り入れ毎週実施している。利用者の健康管理を行い、緊急時には看護師への相談や支援を受けられる体制をとっている。
- ・保護者が利用者を病院へ連れていくことができない場合、けやきの会職員で通院支援を行った。
- ・土曜、日曜、休日の日中に他事業所を利用するための支援を行なった。
- ・入浴において、機械浴対応が必要な利用者には生活支援センターにて入浴支援を行った。
- ・今年度より夜間支援員（20時から25時）を配置し、夜間の世話人の負担軽減、利用者の就寝時の見守り、支援の充実を図った。

##### (3) 避難訓練

- ・災害時に備えて、各ホームとも避難訓練を継続実施した。（9月、3月）
- ・特に八ツ田地域のホームについては、第2けやき作業所職員と協力して利用者避難のための合同訓練を行った。

#### 6. 総括

夜間支援の加算方法が変わり、理解するまで時間がかかってしまい4月、5月の加算額が激減、また、支援員の配置が必要となり人件費がかかったため、結果全体的に半減した。人件費の見直しが必要となった。

# 短期入所事業 ショートステイひとやすみ 令和3年度事業報告

## 1. 経営状況

### (1) 職員体制、対象者（令和4年3月現在）

職員体制	管理者1名	女性非常勤職員1名（ホームと兼務）
	その他必要に応じてけやきの家、第2けやき作業所職員が応援に入る	
勤務時間	16:00～翌9:00（うち22:00～7:00は休憩時間）	
利用対象者	けやきの会の利用者、知立市内障害者	
利用定員	3名	

## 2. 実施状況

- ・平日はほぼ毎日開所することができた。ショートの職員だけでは対応できない時には日中支援の職員も応援に入り、支援の充実を図った。
- ・令和4年3月からホームの職員が退職、それに伴う人事異動により毎日開所が困難となっている。
- ・緊急性が高い、予約はしていないが、急遽利用したいなどといった場合の対応は困難である。理由としてはグループホームの中にショートステイがあるような併設型、空床型であればスタッフが常駐していて急な受け入れも可能である。しかし、小規模な単独型の施設では職員の常駐は難しいことがあげられる。職員の補充が緊急の課題である。

## 3. 総括

将来のために親から離れて暮らすための訓練的な意味合いでの利用がメインである。地域生活支援拠点等コーディネート事業からの要請によりご家族が入院される方の利用を受け入れた。今回のケースでは前もって入院の日程がわかっており、一緒に利用する方、支援する職員も調整ができた。そういった調整が前もって全くできない緊急受け入れなどは誰が、どう調整し、受け入れるのか考えさせられるケースであった。障がいの重い方をお預かりする場合は職員と1対1で障がい特性に応じた対応を行った。利用を積み重ねていくことで、とても落ち着いて利用することができるようになっている。

## 相談支援センターけやき 令和3年度事業報告

### 1. 経営状況

#### (1) 職員体制（令和4年3月末日）

管理者1名（相談支援専門員を兼務）。

相談支援専門員2名。

令和4年1月から新規で職員を採用し、業務を引き継ぎ人事異動を行う。

#### (2) 運営状況

知立市の委託事業として、専任2人分の人件費と維持費から計画相談支援費を差し引いた額を委託料として運営をした。

### 2. 実施状況

#### (1) 令和3年4月～令和4年3月のサービス等利用計画作成件数（昨年度）

障がい者 計画作成 130件（123件） モニタリング 272件（249件）

障がい児 計画作成 33件（45件） モニタリング 69件（87件）

#### (2) 相談件数 3,811件（4,758件）

### 3. 職員研修

#### (1) 研修実施状況

相談支援初任者研修

相談支援現任研修

#### (2) 各団体との会議に参加

①相談支援実務者会議参加（毎月）

②碧海地域相談支援ネットワークの会参加（隔月）

③前進会参加（年1回）

11月 卒業後の生活について

### 4. 地域生活支援拠点等コーディネート事業について

24時間365日対応の電話について、掛かってきた電話は10件だった。内、時間外対応が3件だった。内容は利用者や事業者からの問い合わせだった。

緊急受け入れ等の対応が必要だったケースは0件だった。

前任が令和3年6月に退職し、緊急受け入れ先の拡大や、受け入れ方法のマニュアル作り、体制づくりなどができずに終わってしまった。一部委託料を返納し、令和4年度からもう一度受け入れ体制、ネットワーク作りを検討、構築していく。

24時間365日対応の電話は継続することができた。

## ヒヤリハット報告書・事故報告書 令和3年度報告

### 1. 報告件数（カッコ内は前年度）

ヒヤリハット 71件(85件) 事故報告 13件(23件)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
ヒヤリ	21	8	4	5	4	7	7	6	1	1	2	5	71
事故	1	1	3	1	2	0	0	0	1	1	0	3	13

### 2. 主な報告内容

事業所ごとに内容に特色が出ている。

例えばけやき作業所では仲間同士のトラブル、パニック、気持ちが不安定なことによる他害等が多い。

第2けやき作業所では商品のやり取りの中でうっかりミス、現金管理上の数え間違い等が多い。

### 3. 虐待報告：虐待通報はありませんでした。

### 4. 苦情解決委員会：苦情受付はありませんでした。